

令和7年度 学校経営の概要

1 学校教育目標

志に生きる ～みちのくの子ら眉高く～

◇ 志に生きる

- ・ 志とは、個人の夢や目標にとどまらず、人々の幸せのため、社会のために何かを成し遂げようとする思い
- ・ 世のため人のために貢献できる人間の育成

◇ みちのくの子ら眉高く

- ・ 「国はらに雪しろがねに 厚く鎧いておおえども」に続く、校歌の一部分
- ・ 風雪（苦難）に耐えながらも、前（将来）に向かい、眉を上げ（志を持ち）大きく目を見開いている生徒の姿

2 めざす生徒の姿

- 志を掲げ、努力する生徒
- 自分も仲間も大切にする生徒
- 自ら考え、行動する生徒

3 めざす教師の姿

- 生徒の思いを大切にし、成長を支える教師
- 同僚性を大切にし、チームで取り組む教師
- 主体的に学び続け、資質向上に努める教師

4 めざす学校の姿

- 一人一人を大切にする学校
※人に大切にされた子どもは、自分を大切にし、人を大切にする人間に育つ
- 家庭、地域と共に歩む学校
※「子どもは地域の宝」であることを踏まえ、家庭、地域と共に育てる

5 共通実践事項

一人一人を大切に ～安全・安心 居心地のよい学校～

6 経営の重点と具体策

(1) 一人一人にとって、安心して生活できる居心地のよい学校づくり

- ・ 全校生徒を全職員で支援
- ・ 認め合い・励まし合い・支え合える学習集団の育成
- ・ いじめ、不登校、特別支援等の校内委員会を機能させた組織的な支援
- ・ 事故防止に向けた安全指導の徹底と日々の危機管理

(2) 生き方を考えるキャリア教育の充実

- ・ 学校教育目標「志に生きる」を様々な活動に落とし込み、他者への思いやりの心を込めた夢や目標をはぐくむ指導の充実
- ・ 家庭や地域との関わりを通して、自分の生き方や社会との結びつきについて考える機会の確保

(3) 一人一人の学びが深まる学習指導の充実

- ・ 南中「基本的な授業のプロセス」を基本とした授業づくり
- ・ 学ぶ意義を重視した指導の充実
- ・ 生徒が見通しをもちながら主体的に学ぶ授業づくり
- ・ 自ら考え、選択し、決定する場の保証
- ・ 共に認め合う場の工夫

(4) たくましく生き生きと活動する生徒の育成

- ・ 教師の手による居場所づくりと生徒同士の絆づくり
- ・ お互いを認め合い、安心して授業や学校生活が送れる風土づくり
- ・ 生徒の主体的な活動を支える教師集団づくり

(5) 保護者、地域との信頼関係、連携体制づくり

- ・ ホームページや学校報等での積極的な情報発信
- ・ 学校運営協議会等を通して方向性や課題などについて協議を行うなど、家庭、地域と共に歩む学校づくり